



# 2023年3月期 第1四半期 決算説明会

2022年8月4日  
ソフトバンク株式会社

証券コード：9434

# 免責事項

本資料に含まれる計画、見通し、戦略その他の将来に関する記述は、本資料作成日時点において当社が入手している情報および合理的であると判断している一定の前提に基づいており、さまざまなリスクおよび不確実性が内在しています。実際の業績などは、経営環境の変動などにより、当該記述と大きく異なる可能性があります。また、本資料に記載されている当社および当社グループ以外の企業などにかかる情報は、公開情報などから引用したものであり、情報の正確性などについて保証するものではありません。

# 2023年3月期 第1四半期

## 連結業績

# 売上高

[円]

1兆3,566億



1兆3,620億



0.4%増収

2021年度Q1

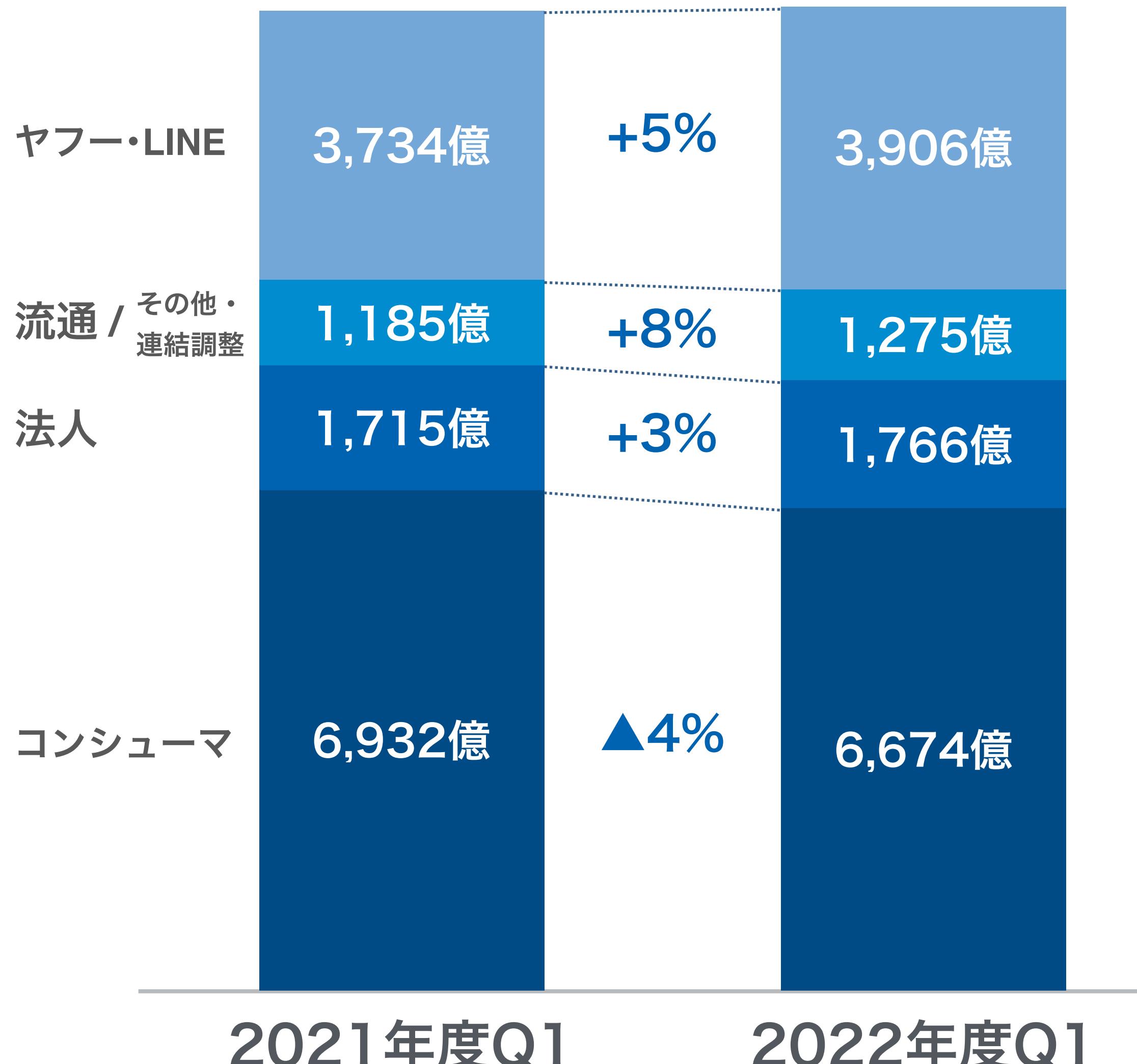
2022年度Q1

(注) 本資料では、増減について特に記載のない場合は前年同期比を指します。  
また端数処理について、特に記載のない場合は表示単位の小数点第一位を四捨五入しています。

## 売上高 セグメント別

[円]

1兆3,566億 1兆3,620億



法人、ヤフー・LINE、流通が  
增收

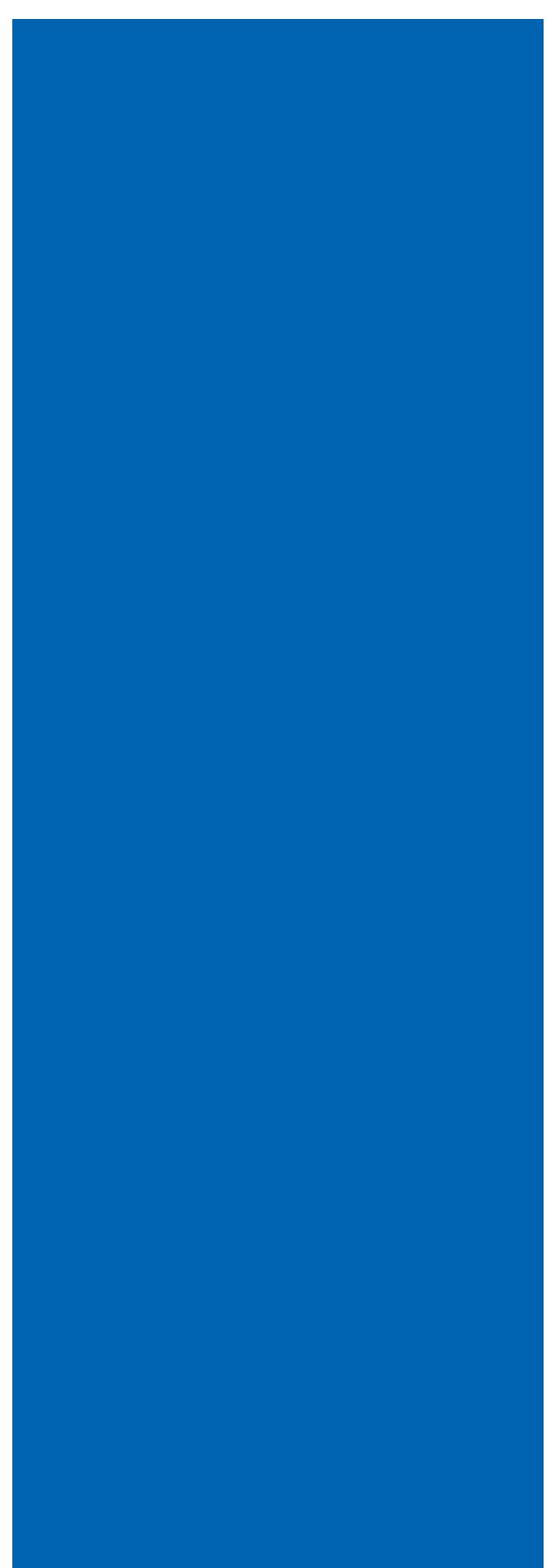
# 営業利益

[円]

2,831億



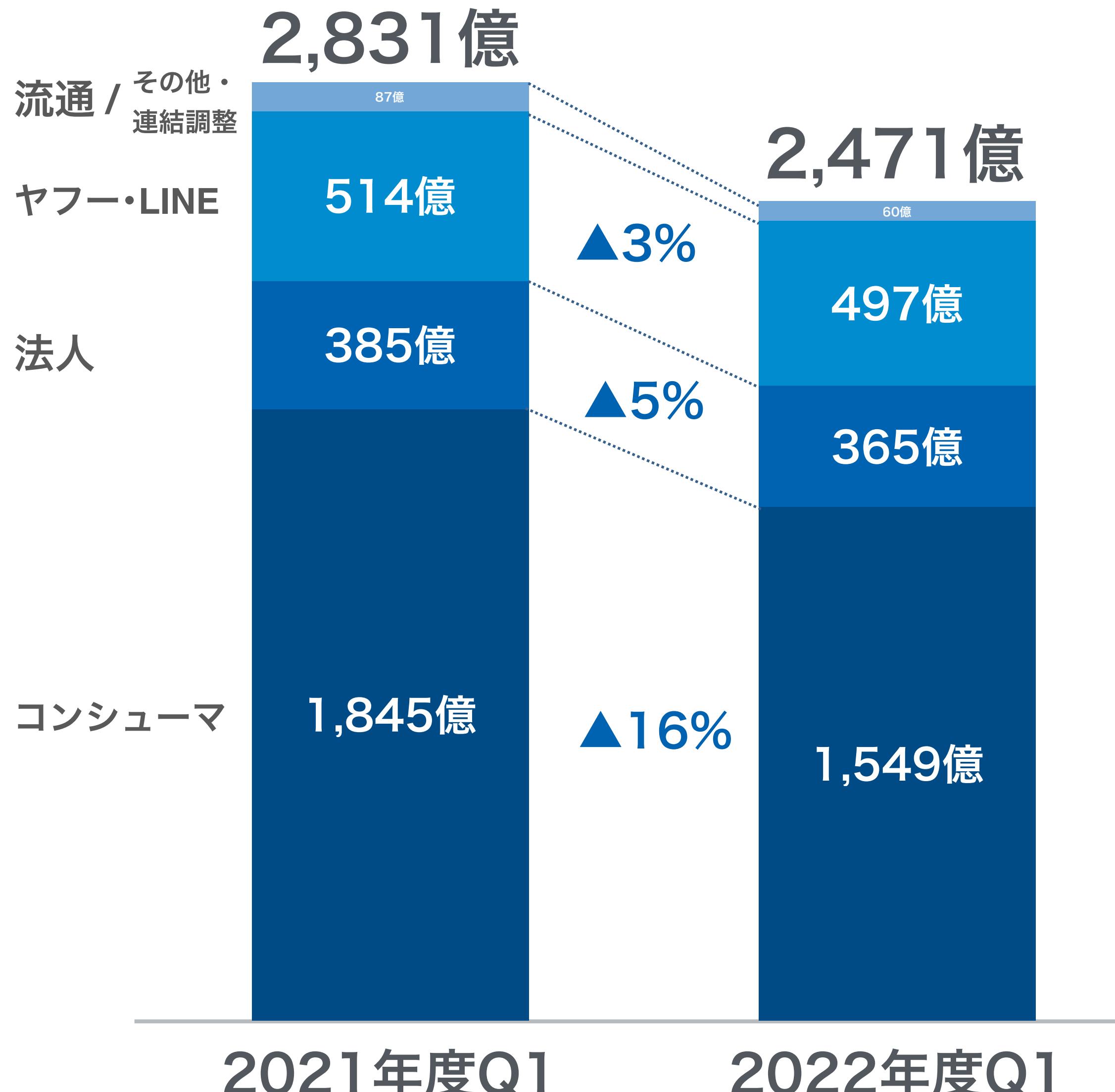
2,471億



13%減益

# 営業利益 セグメント別

[A]



セグメント	増減要因	
流通	・流通事業	▲6億円
その他・連結調整	・一部子会社での減損等	
ヤフー・LINE	・主に成長に向けた採用強化等	▲17億円
法人	21年度Q1 ・一時的な費用の 戻し入れ影響の剥落	▲27億円
コンシューマ	・通信料値下げの影響 ・獲得関連費用の増加 ・契約数増・費用の削減等	▲250億円 ▲210億円 +170億円

(注) 獲得関連費用：過去の獲得費の繰り延べ影響▲134億円(大部分は2021年度以前でノンキャッシュ)と物販等売上の粗利(物販等売上一商品原価)の減少▲74億円の合計

# 純利益

[円]

1,510億



1,285億



15%減益

2021年度Q1

2022年度Q1

## 2022年度 第1四半期 連結業績

[円]

	2021年度 Q1	2022年度 Q1	増減	増減率
売上高	1兆3,566億	1兆3,620億	+54億	+0.4%
営業利益	2,831億	2,471億	▲360億	▲13%
純利益	1,510億	1,285億	▲224億	▲15%

## 2022年度 通期業績予想 進捗率

[円]

	2022年度Q1 実績	2022年度 通期業績予想	進捗率
売上高	1兆3,620億	5兆9,000億	23%
営業利益	2,471億	1兆以上	25%
純利益	1,285億	5,300億以上	24%

## 2022年度 通期業績予想 セグメント別進捗率

[円]

	2022年度Q1 実績	2022年度 通期業績予想	進捗率
コンシューマ事業	1,549億	4,800億	32%
法人事業	365億	1,500億	24%
流通事業	55億	235億	24%
ヤフー・LINE事業+その他 (PayPay連結影響含む)	502億	3,465億以上	14%
全社計	2,471億	1兆以上	25%

# 経営目標

営業利益  
1兆円以上  
(2022年度)

調整後FCF  
6,000億円水準  
(2022年度)

営業利益<sup>\*</sup>  
V字回復  
(2023年度)

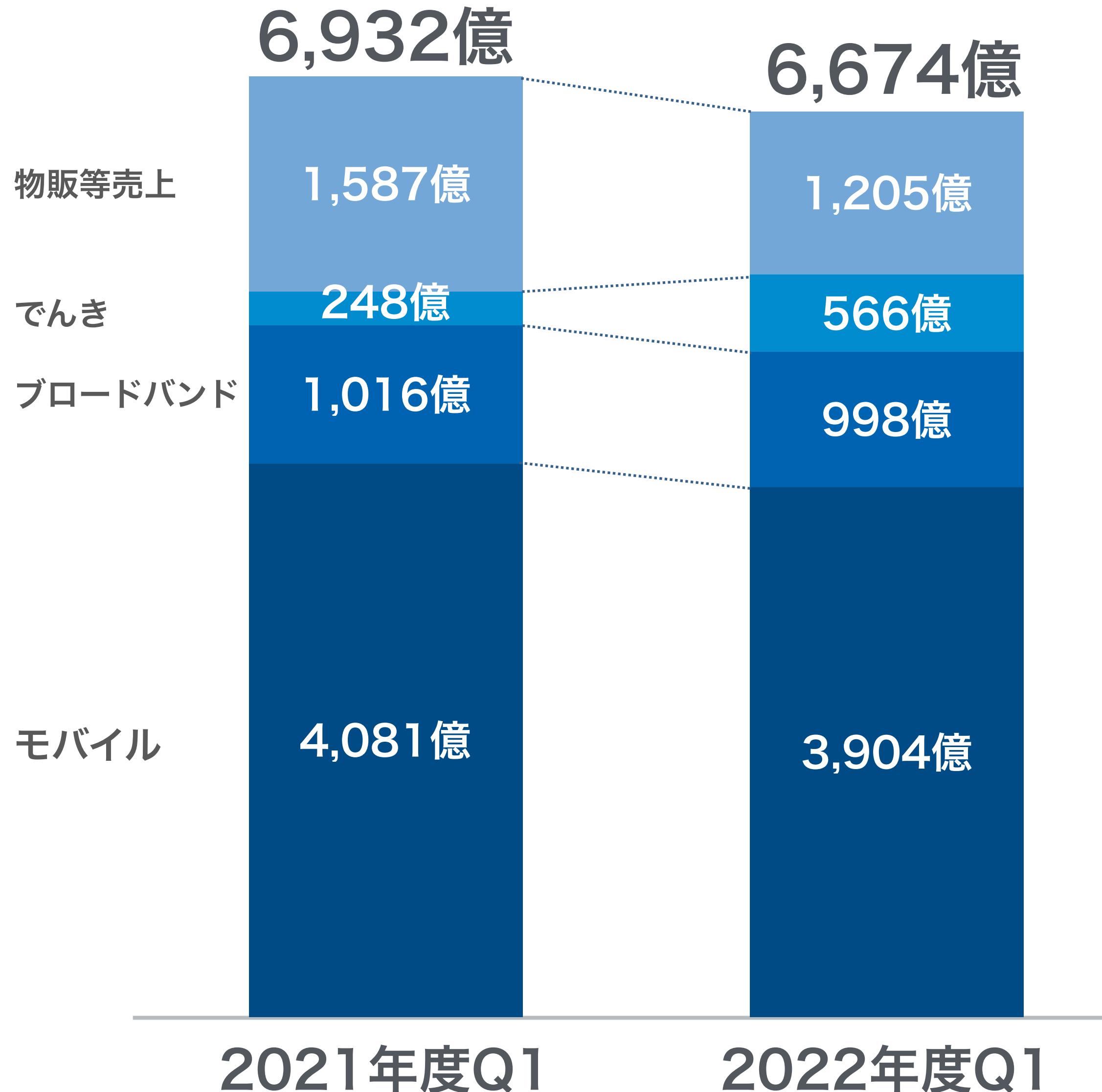
# 達成に向けて順調に進捗

# コンシューマ 事業



## コンシューマ事業 売上高

[円]



4%減収

# コンシューマ事業 営業利益

[円]

1,845億



1,549億

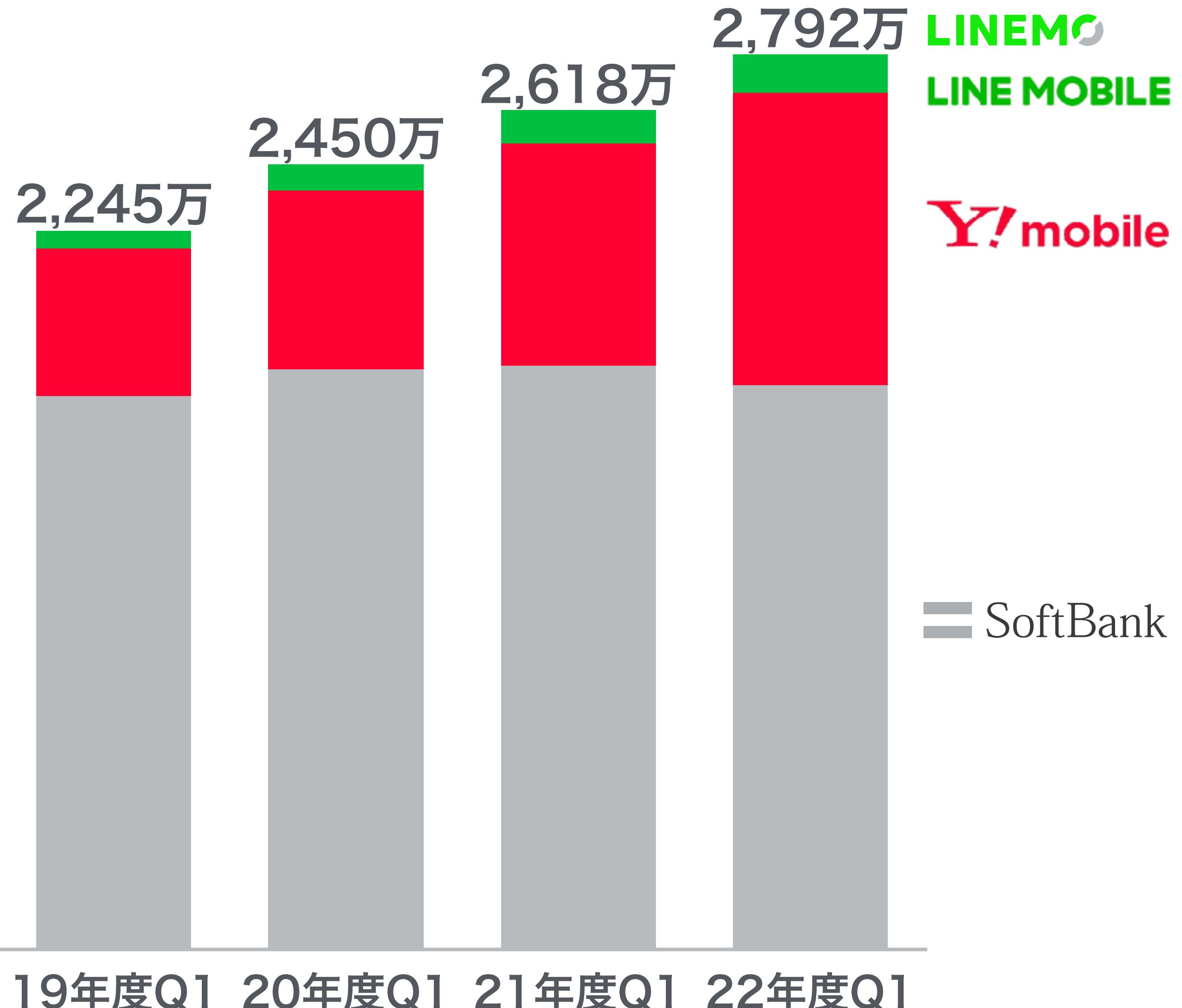


通信料値下げ影響などで

16%減益

# スマートフォン 累計契約数

[件]



■ SoftBank

LINEMO

LINE MOBILE

Y!mobile

スマートフォン契約数

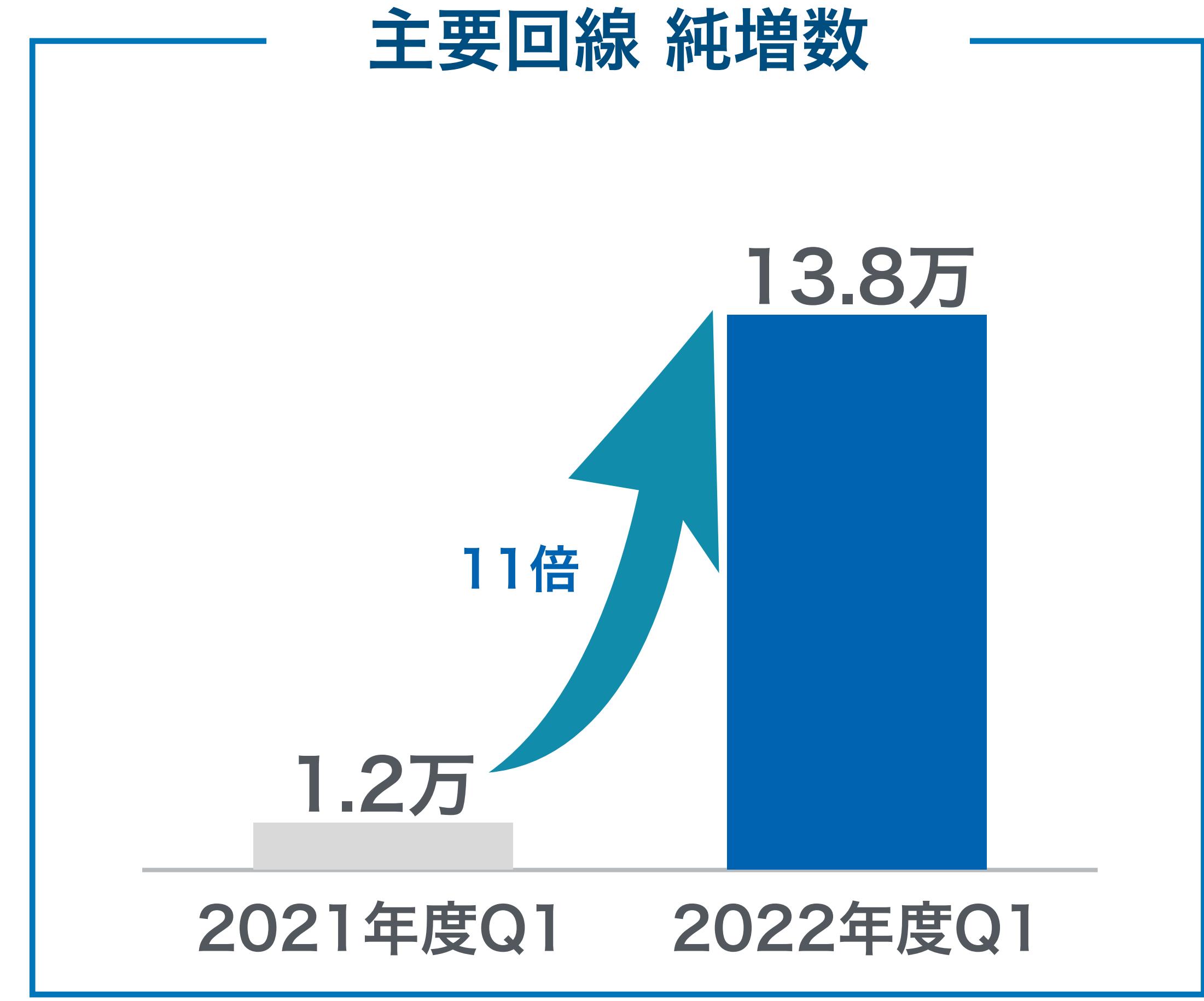
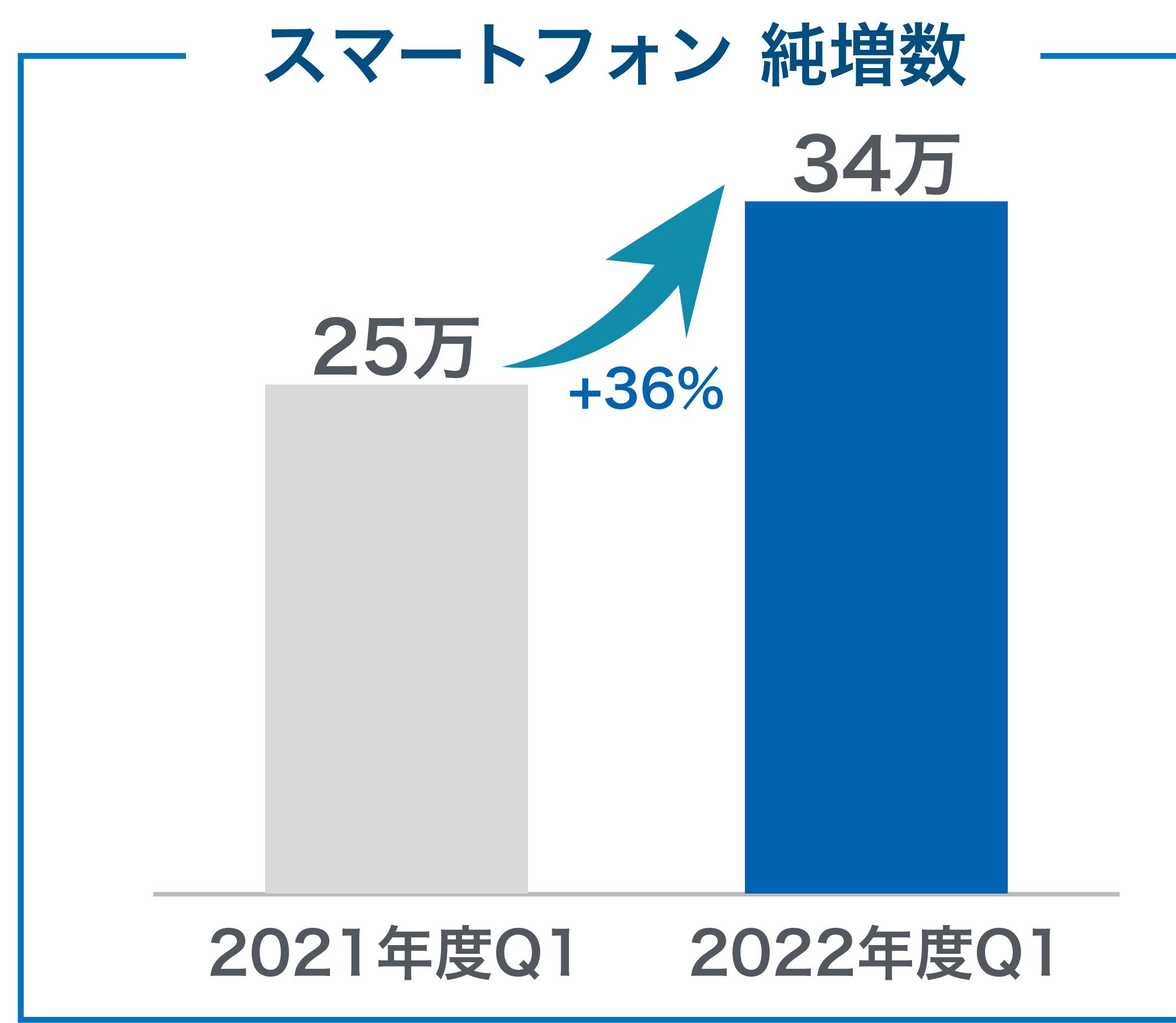
7%増

■ SoftBank

# モバイル契約 純増数

[件]

## 前年比で大幅に改善

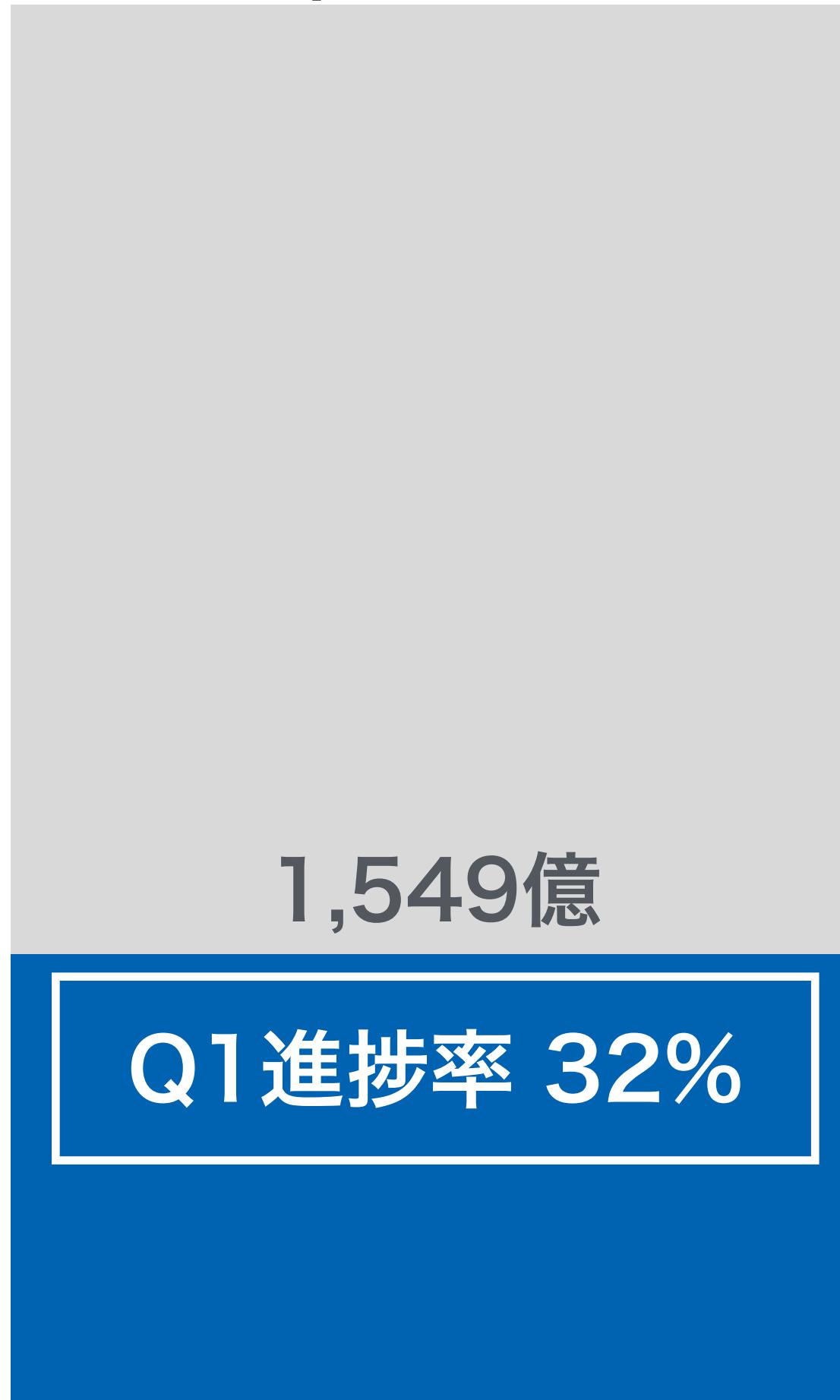


(注) 純増数：該当四半期末の累計契約数－前四半期末の累計契約数、主要回線：スマートフォン、従来型携帯電話、タブレット端末、モバイルデータ通信端末などの合計。法人契約を含みます。 16

## コンシューマ事業 通期営業利益予想 進捗

[円]

(通期予想) 4,800億



2022年度

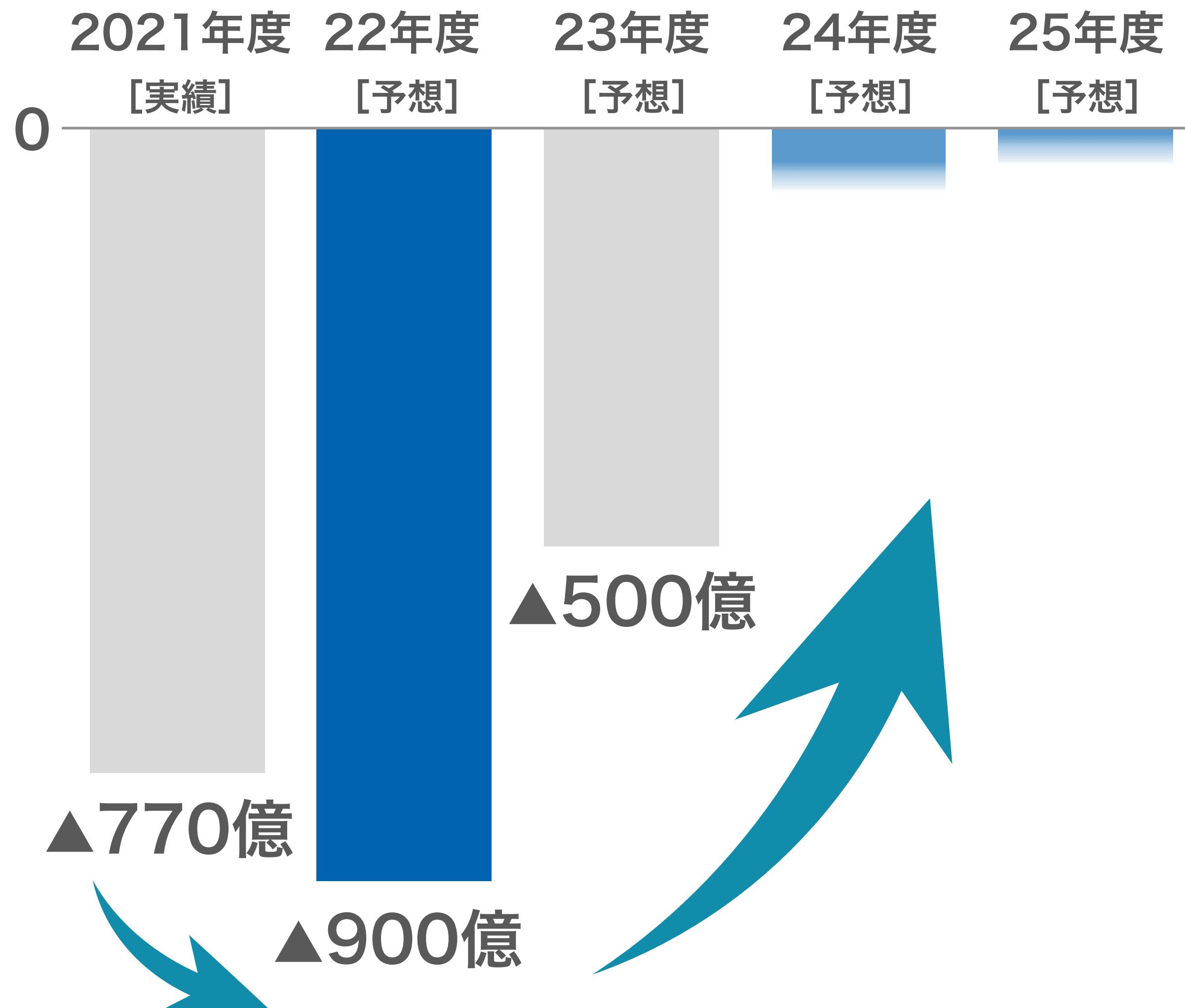
コンシューマ事業 営業利益

期初想定より  
順調に推移

(参考：21年度Q1 進捗率 28.7%)

# 通信料値下げ影響

< 2021年春の通信料値下げに伴う業績影響額(前年対比) >

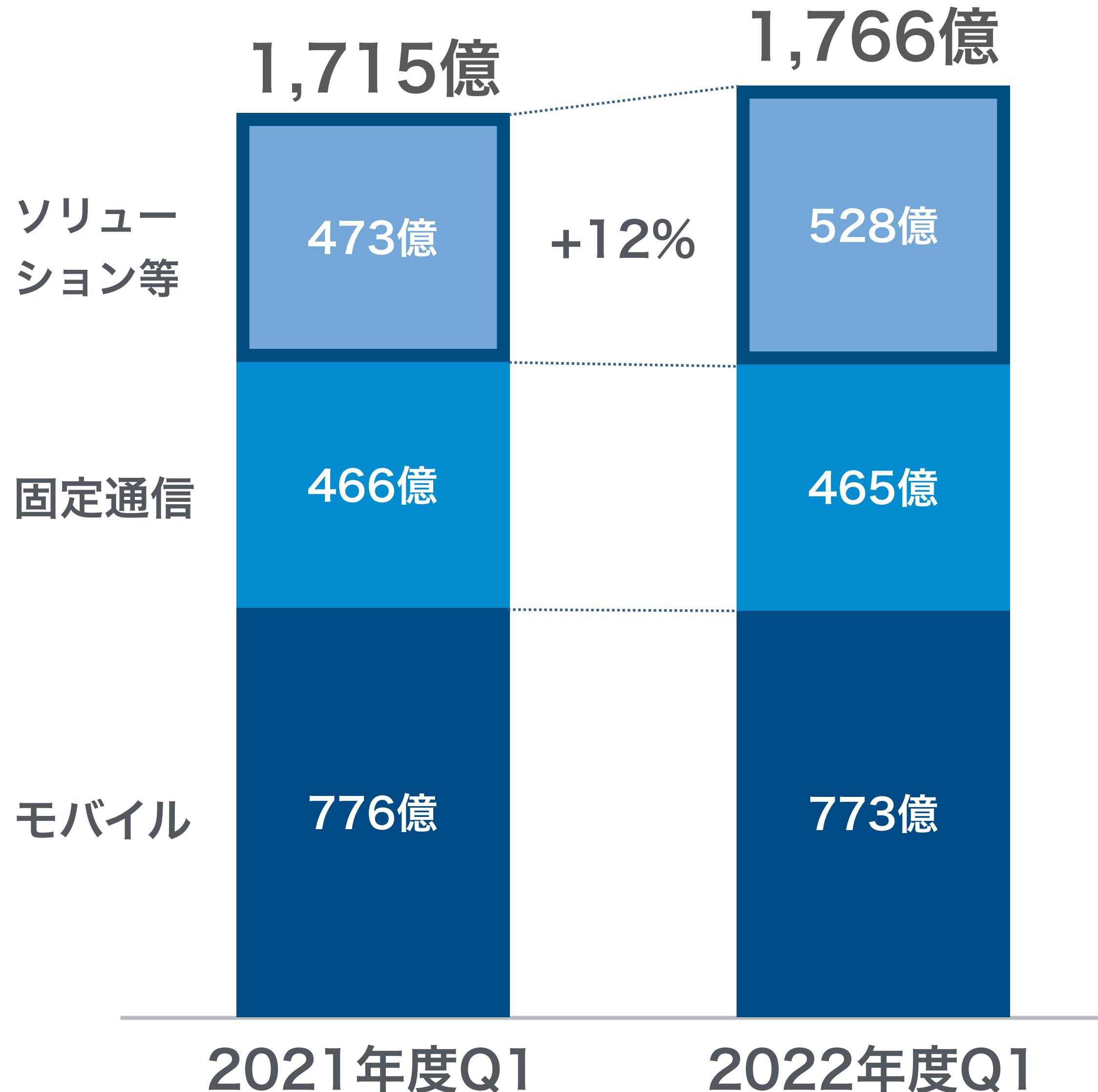


通信料値下げによる減益影響  
2022年度を底に  
大幅に縮小

# 法人事業



# 法人事業 売上高 [円]



**3%増収**  
ソリューション等が12%増

# 法人事業 営業利益

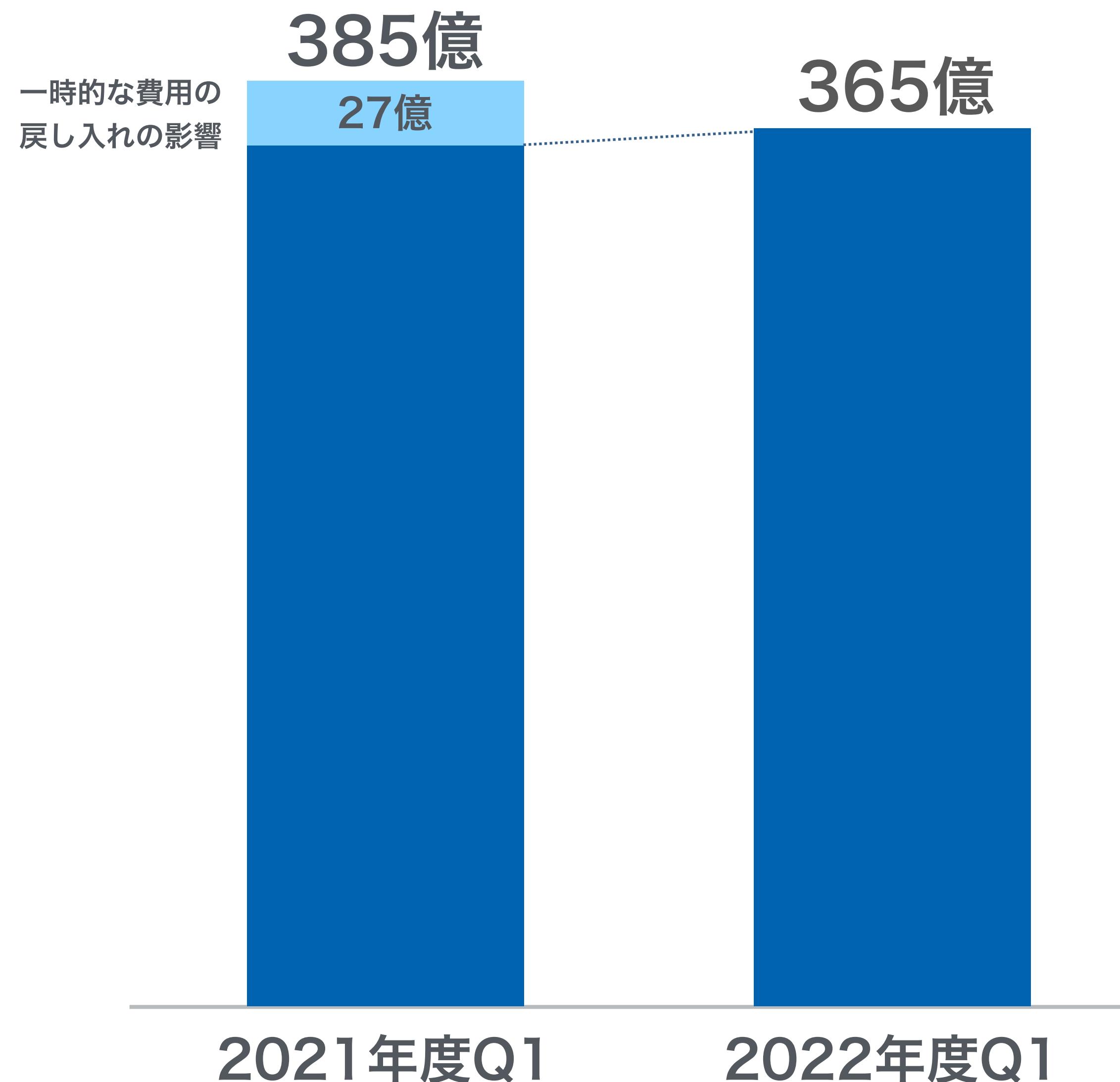
[円]



5%減益

## 法人事業 営業利益

[円]

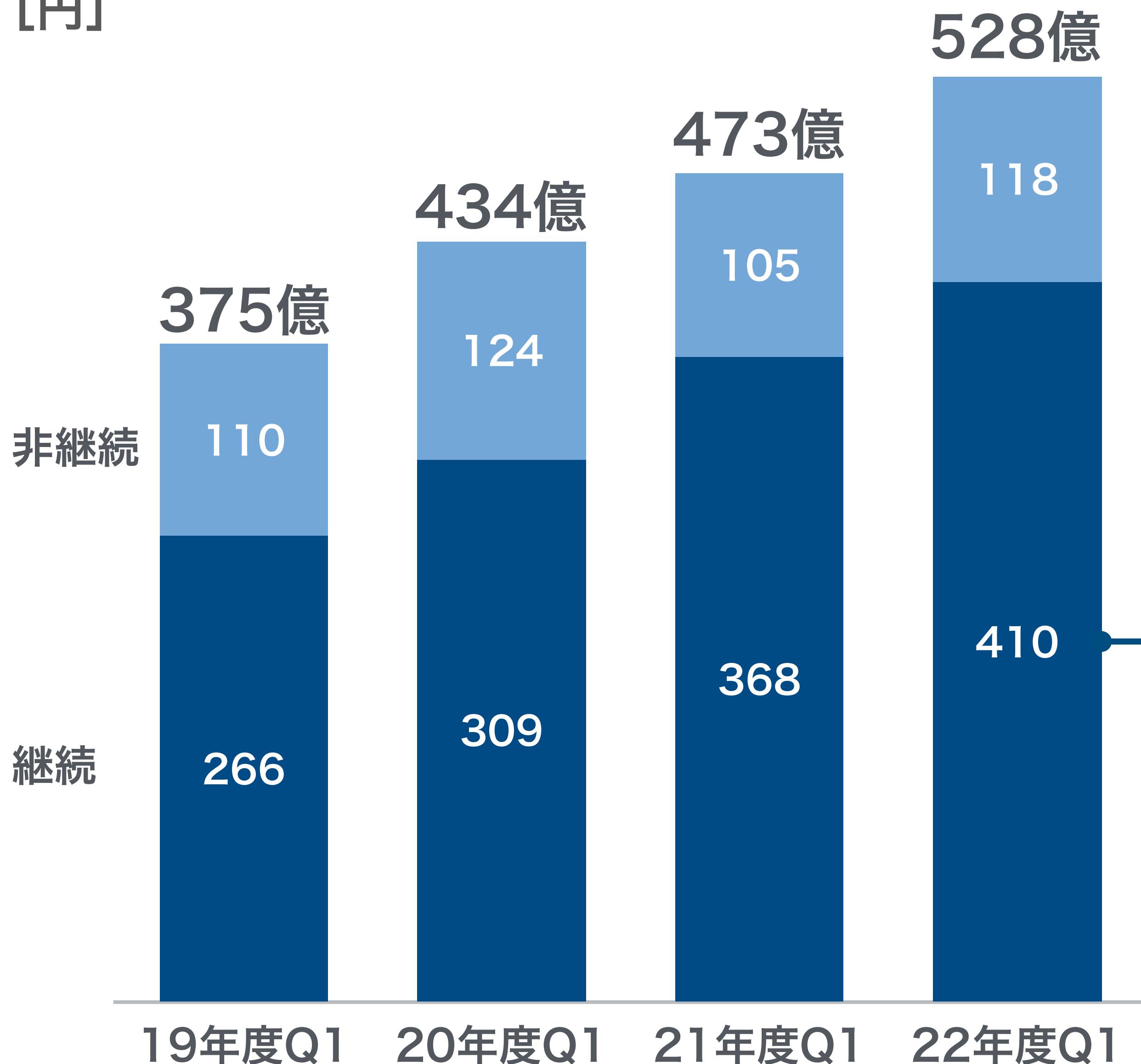


2021年度Q1に発生した  
一時的な費用の戻し入れの影響(27億円)を除けば

2%増益

## 法人事業 ソリューション等 売上高

[円]



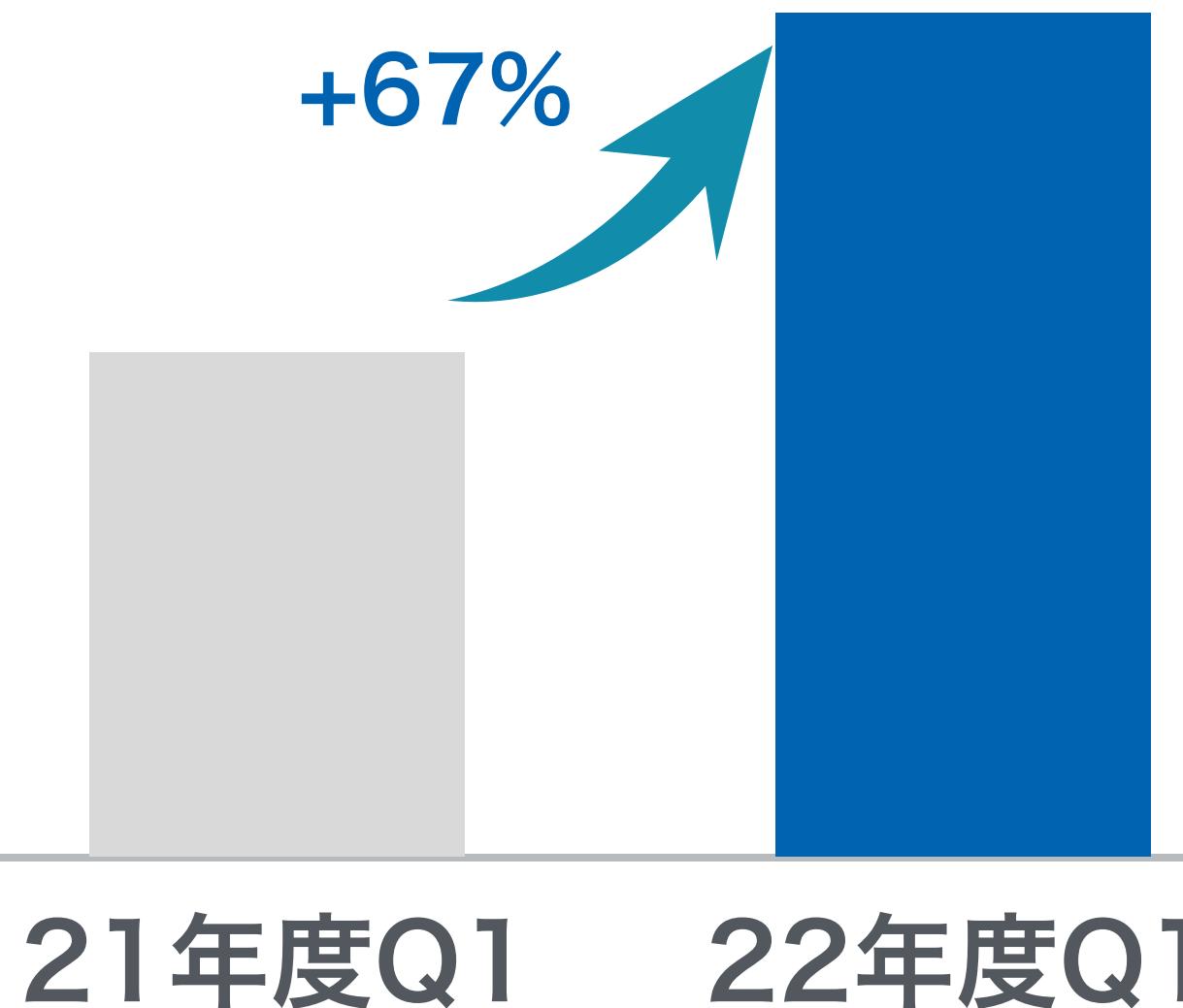
継続収入が  
12%増加



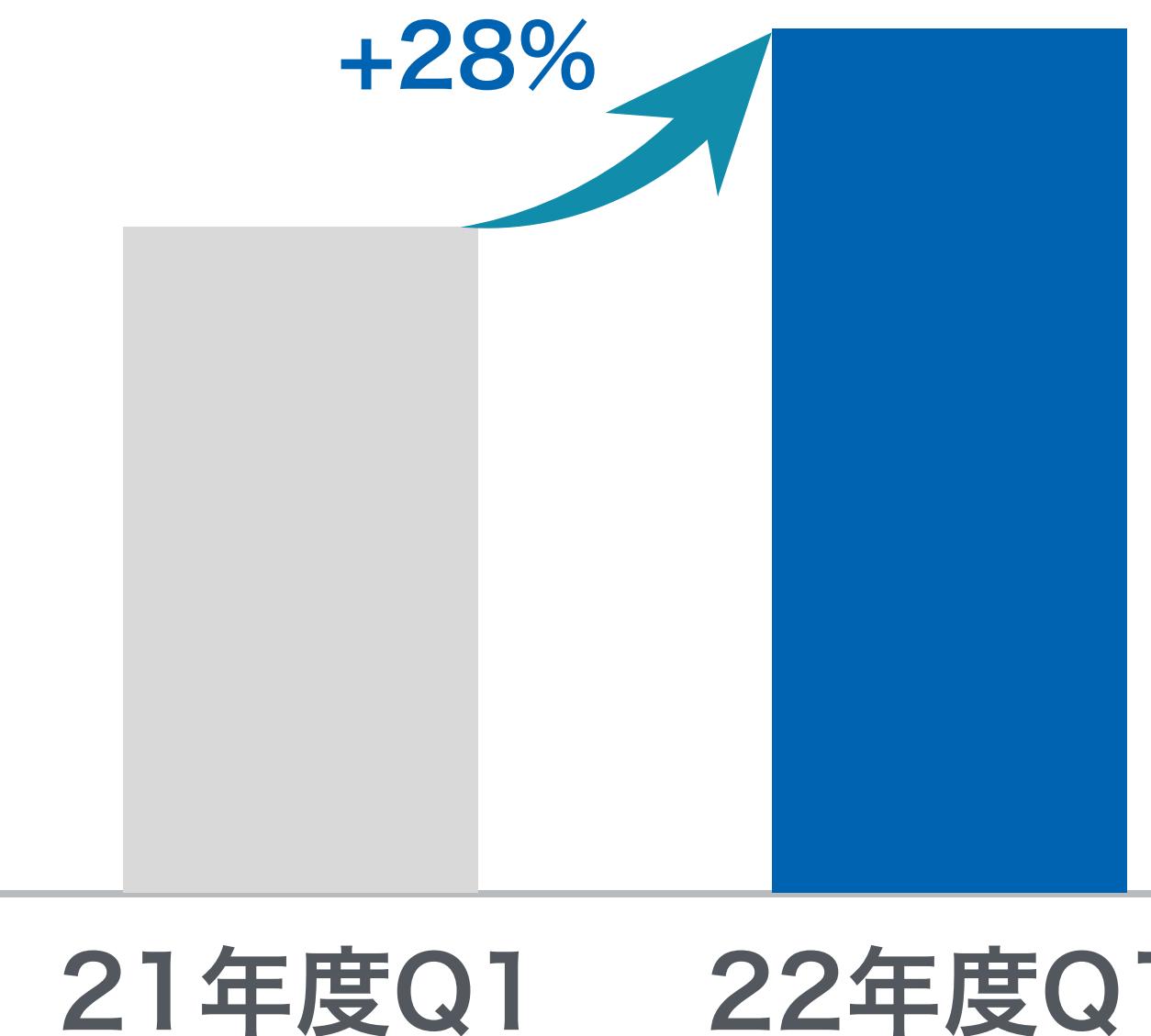
## 法人事業 ソリューション等 売上高

経営課題を解決する継続性の高い商材が伸長

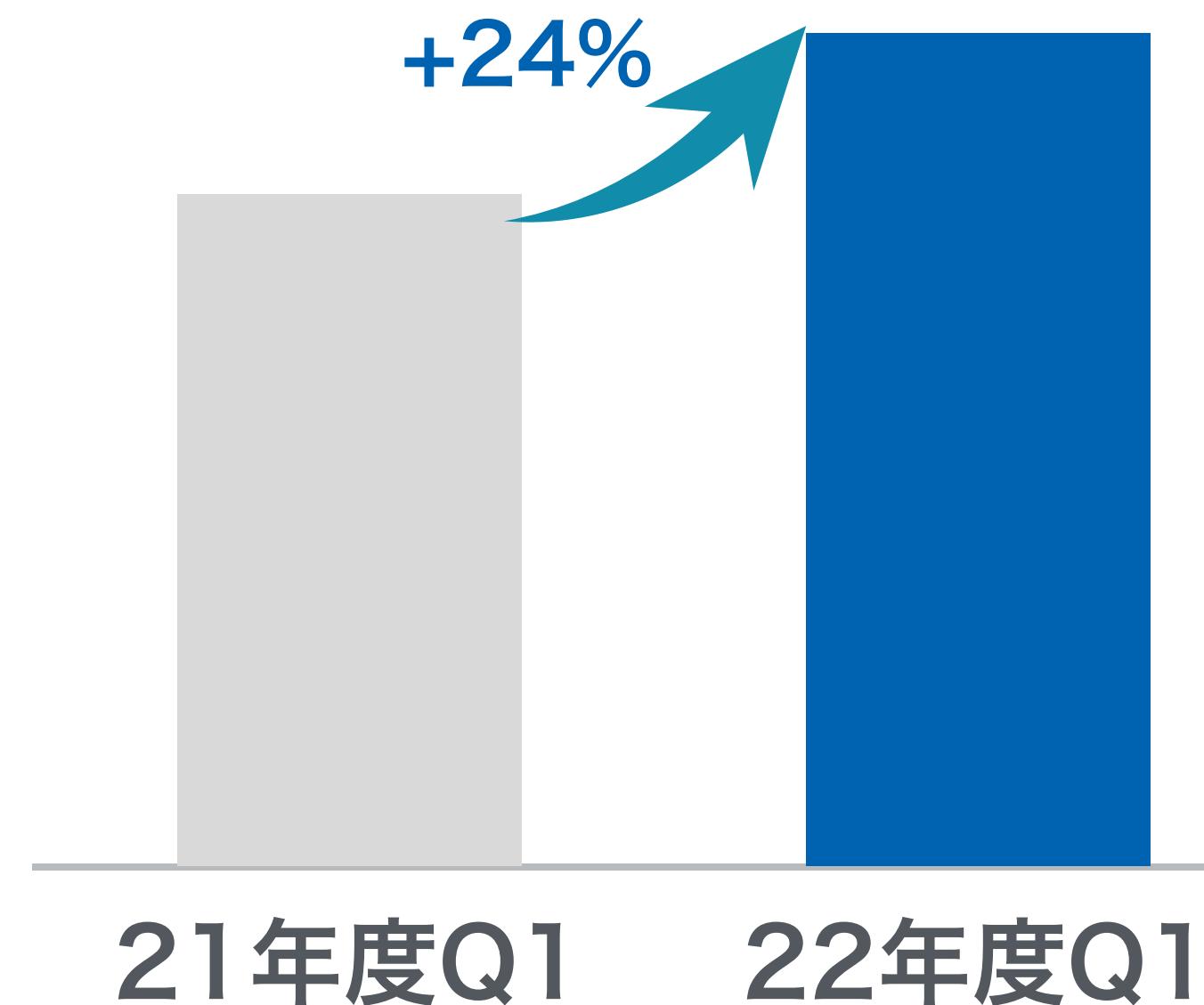
デジタル  
マーケティング領域



セキュリティ領域



クラウド領域



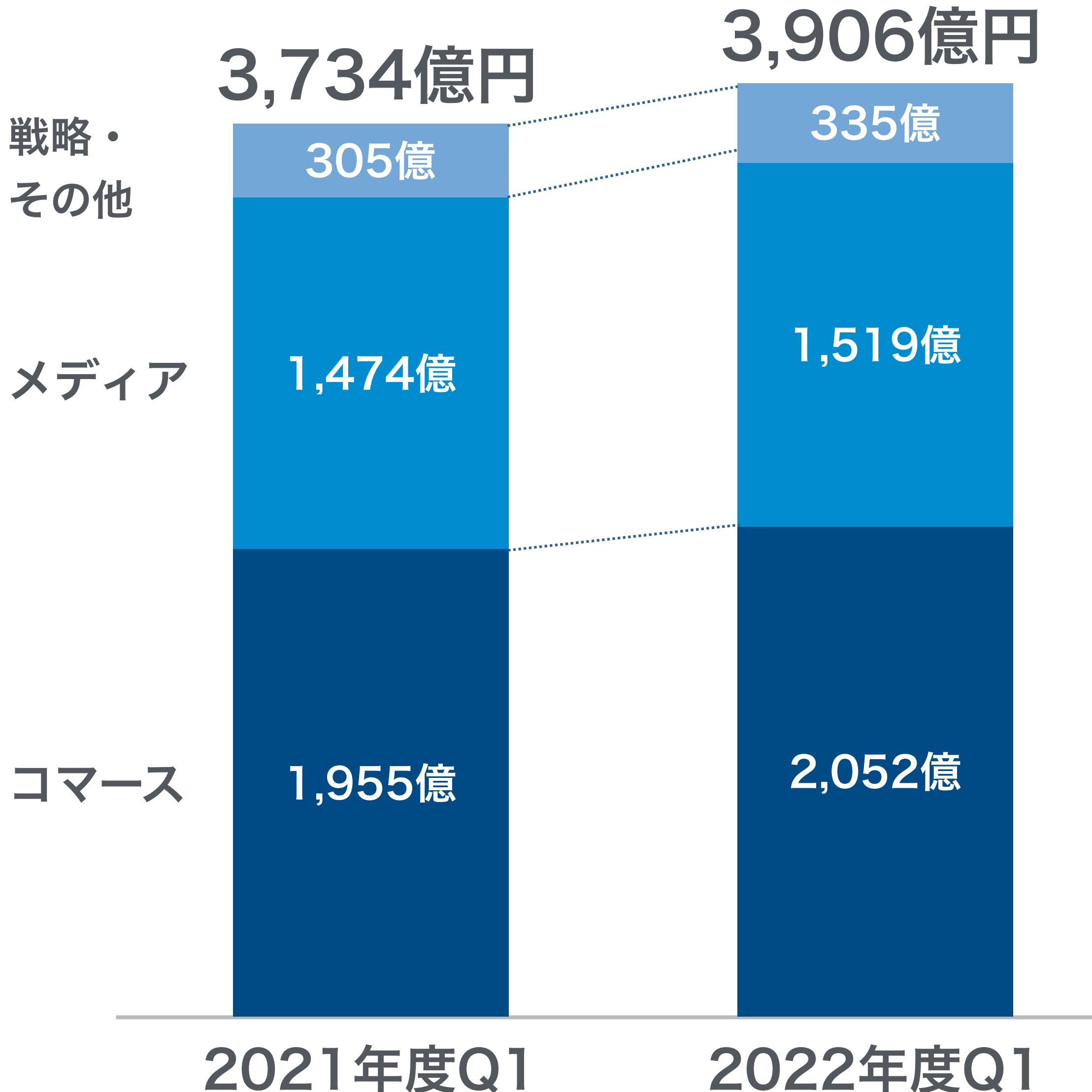
# YAHOO! JAPAN

# LINE



## ヤフー・LINE事業 売上高

[円]



5%増収

(注) 2022年度Q1連結累計期間において、Zホールディングスグループでは、事業の管理区分を見直し、一部のサービスについて区分を移管しました。これに伴い、2021年度Q1連結累計期間のヤフー・LINE事業の売上高のうち、「メディア」および「戦略・その他」の内訳を修正再表示しています。

# ヤフー・LINE事業 営業利益

[円]

514億円



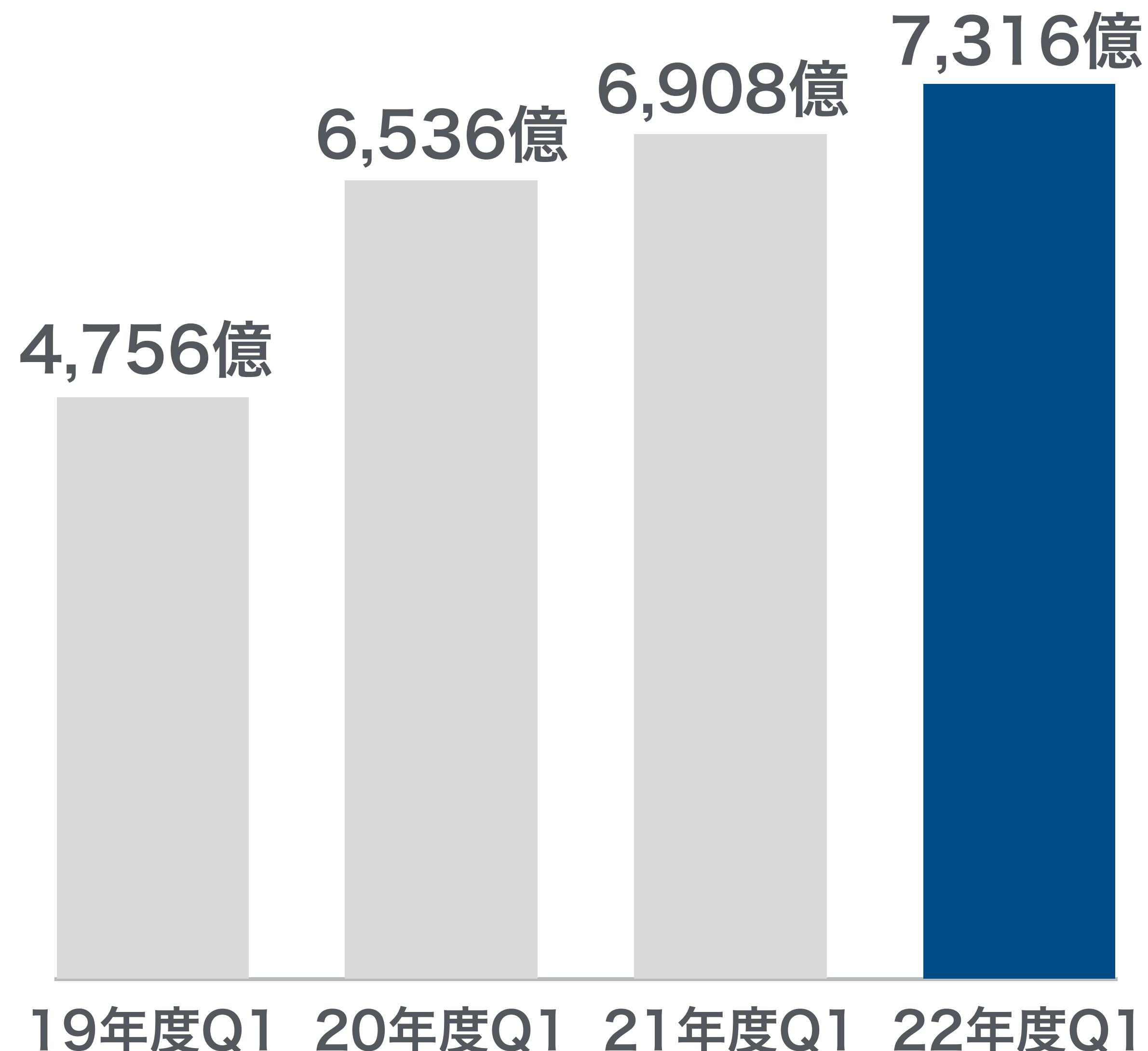
497億円



3%減益

# ヤフー・LINE事業 物販eコマース取扱高 (国内)

[円]



物販eコマース取扱高

6%増

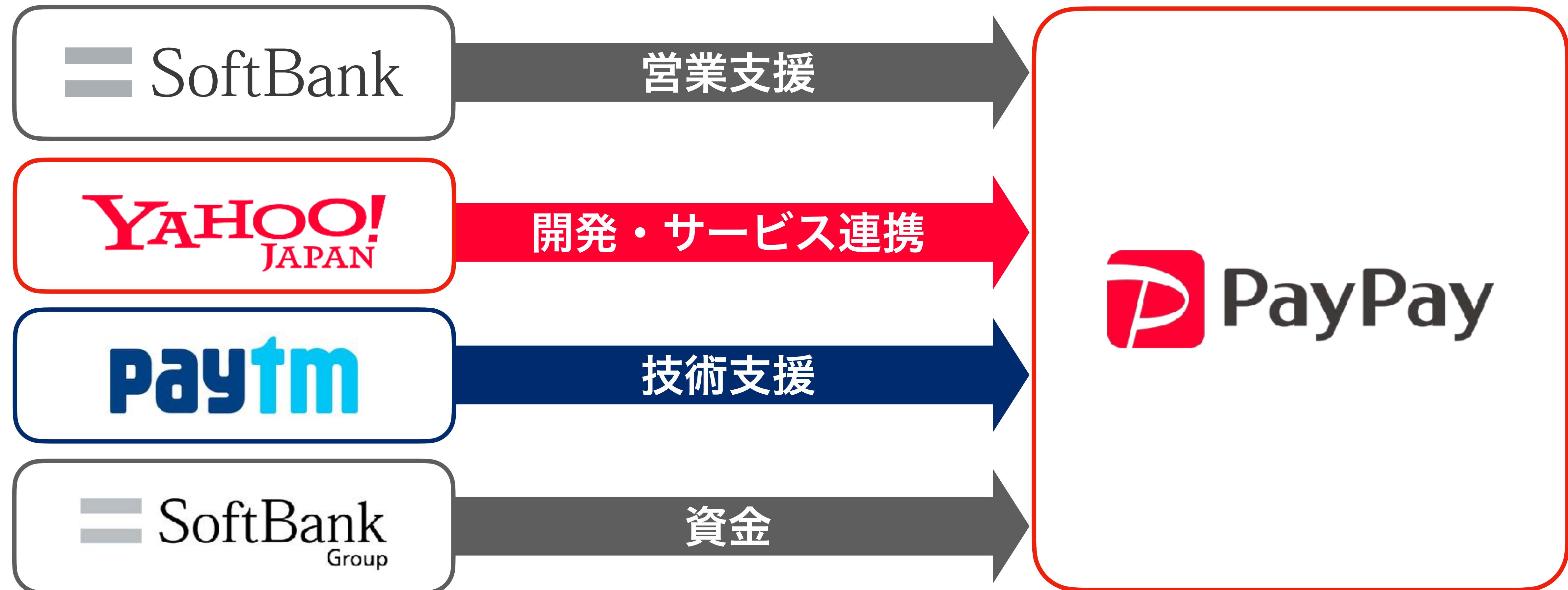
(注) 国内のショッピング事業取扱高、リユース事業取扱高、その他(物販)取扱高、アスクル株式会社におけるBtoB事業インターネット経由売上収益(20日締め)の合計値  
Zホールディングス株式会社の開示基準に従い、億円単位で端数の切り捨てを行っています。



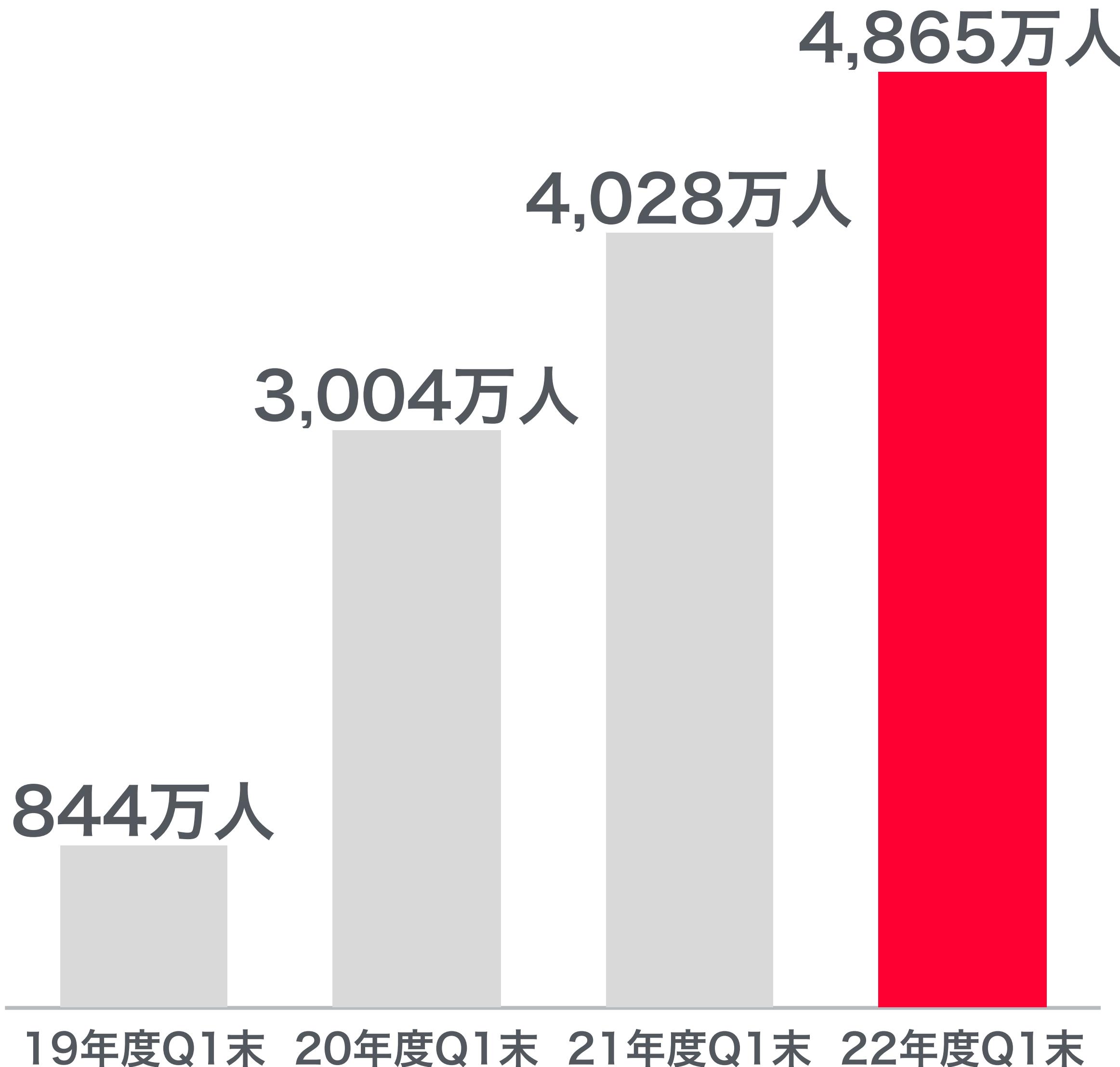
「PayPay」  
サービス開始から  
約3年9ヶ月  
(事業育成期)

# 「PayPay」事業育成期

## 4社が協力して成長を促進



# 「PayPay」登録者数



ユーザー数

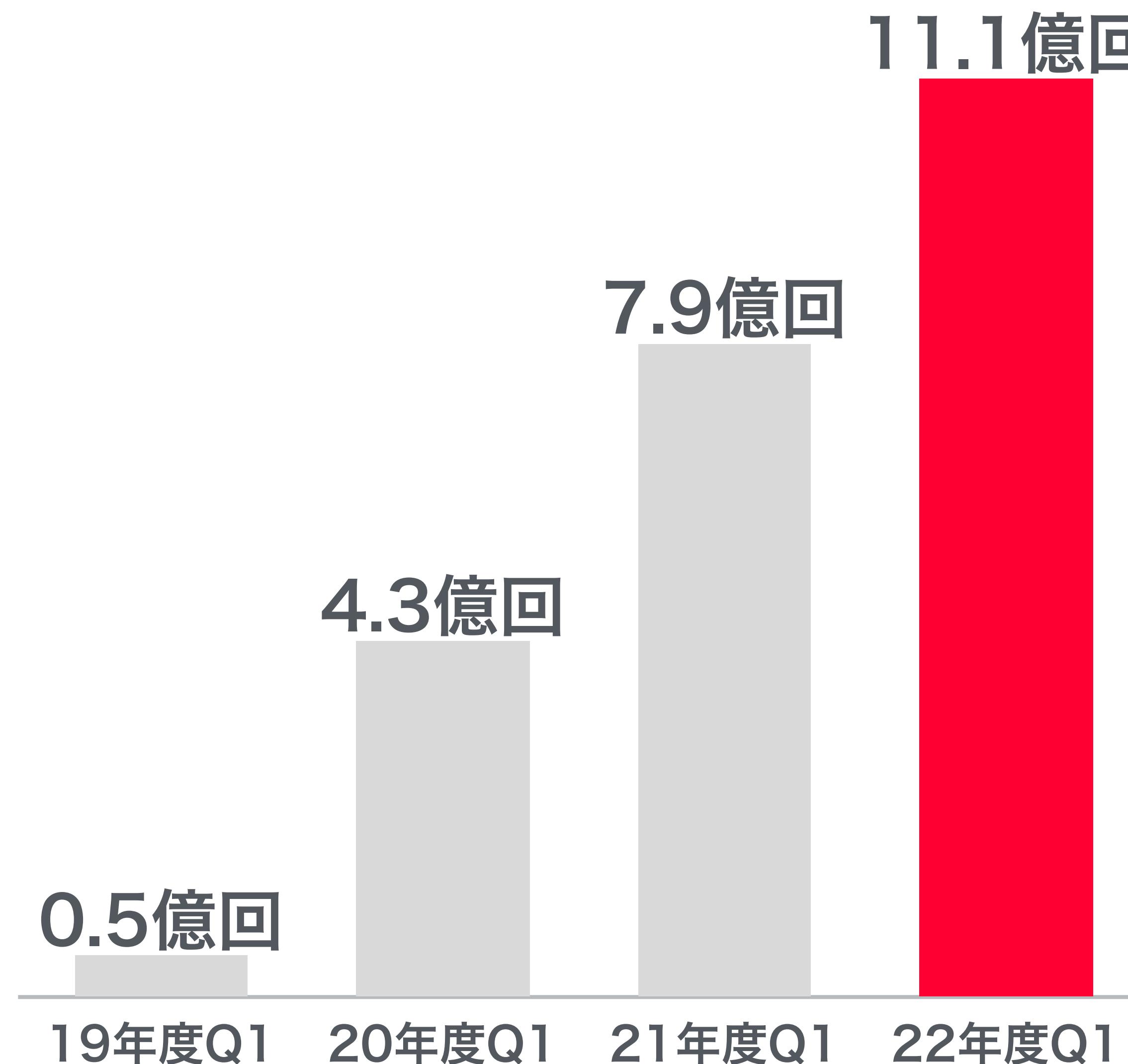
4,800万人超

前年同期比 21%増

19年度Q1末 20年度Q1末 21年度Q1末 22年度Q1末

(出所) PayPay株式会社  
(注) アカウント登録を行ったユーザー数の累計  
Zホールディングス株式会社の開示基準に従い、万人単位で端数の切り捨てを行っています。 31

# 「PayPay」決済回数



## 決済回数 (四半期)

11.1 億回

前年同期比 42%増

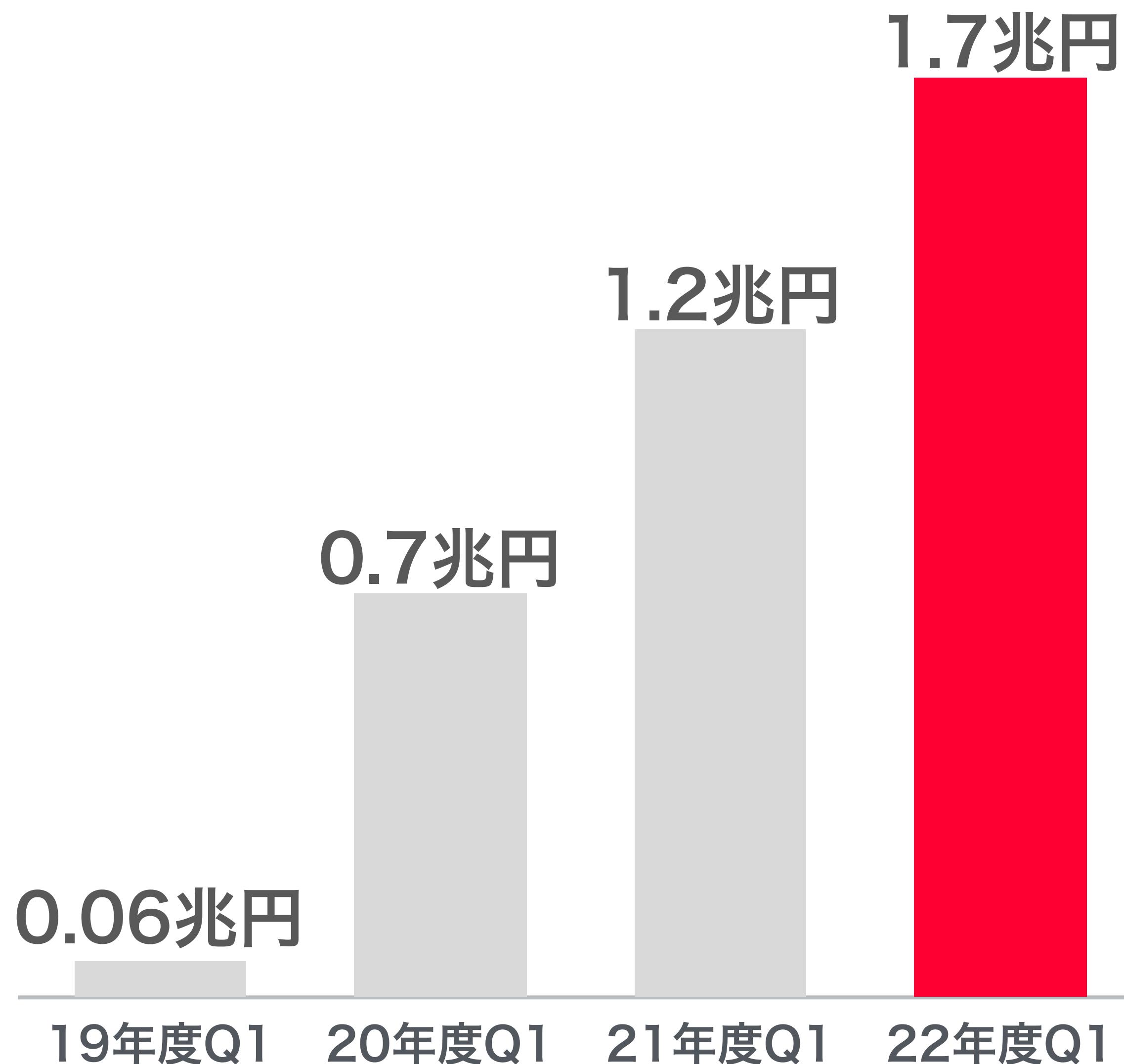
(出所) PayPay株式会社

(注) ユーザー間での「PayPay残高」の「送る・受け取る」機能の利用は含みません。

2021年度Q4以降は「Alipay」、「LINE Pay」経由の決済を含みます。

2022年2月より提供開始した「PayPayあと払い」による決済回数を含みます。 32

# 「PayPay」決済取扱高 (GMV)



決済取扱高 (四半期)

1.7兆円

前年同期比 38%増

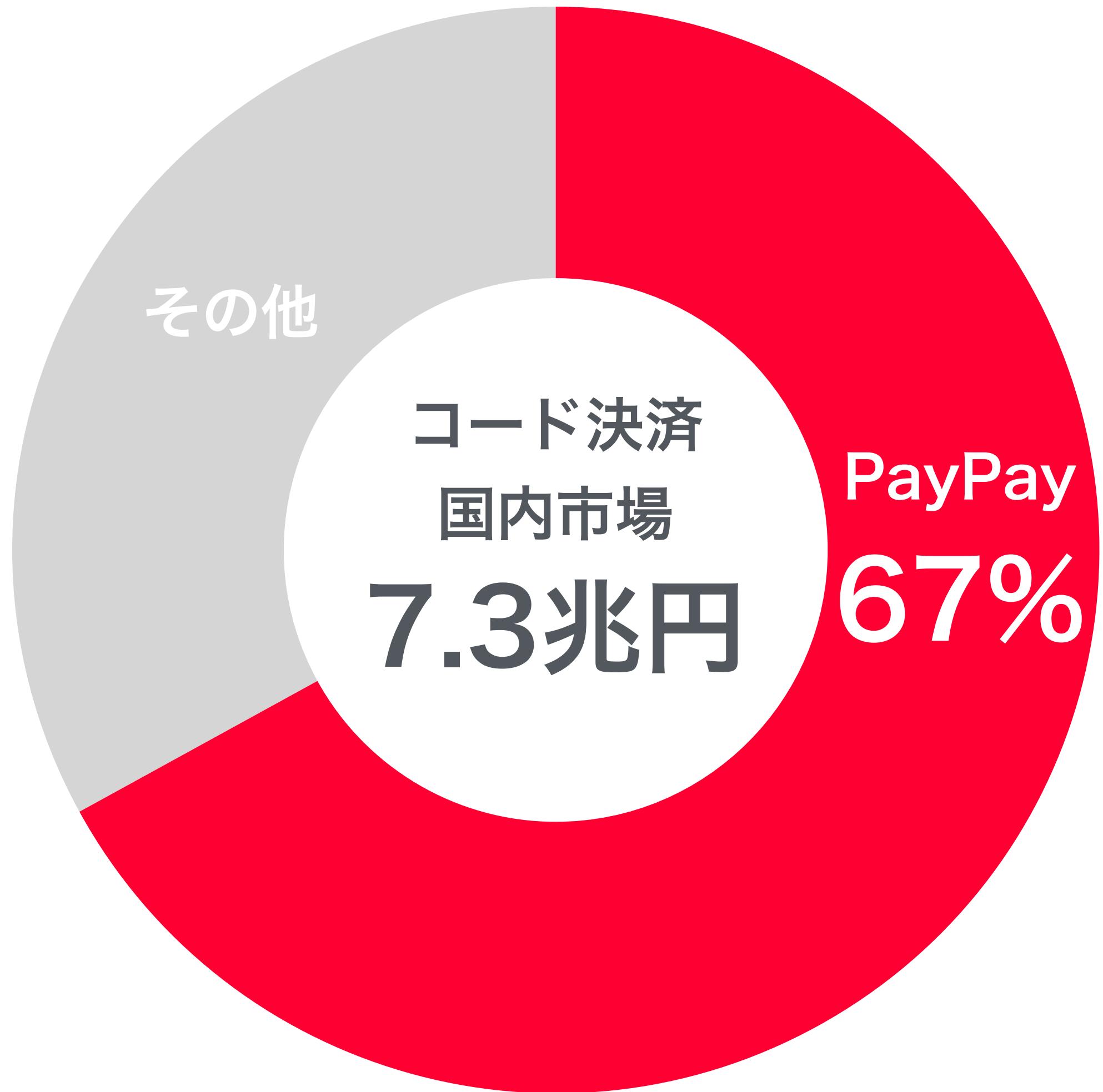
(出所) PayPay株式会社

(注) ユーザー間での「PayPay残高」の「送る・受け取る」機能の利用は含みません。

2021年度Q4以降は「Alipay」、「LINE Pay」経由の決済を含みます。

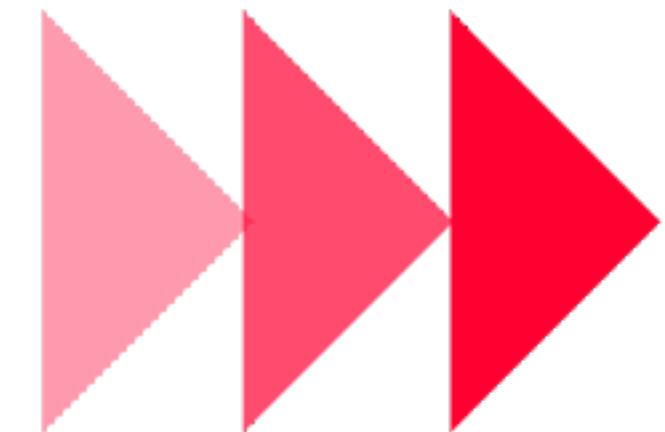
2022年2月より提供開始した「PayPayあと払い」による決済取扱高を含みます。 33

# コード決済国内市場シェア(2021年)

 PayPay  
**国内No.1**



事業育成期



本格的な  
マネタイズ期

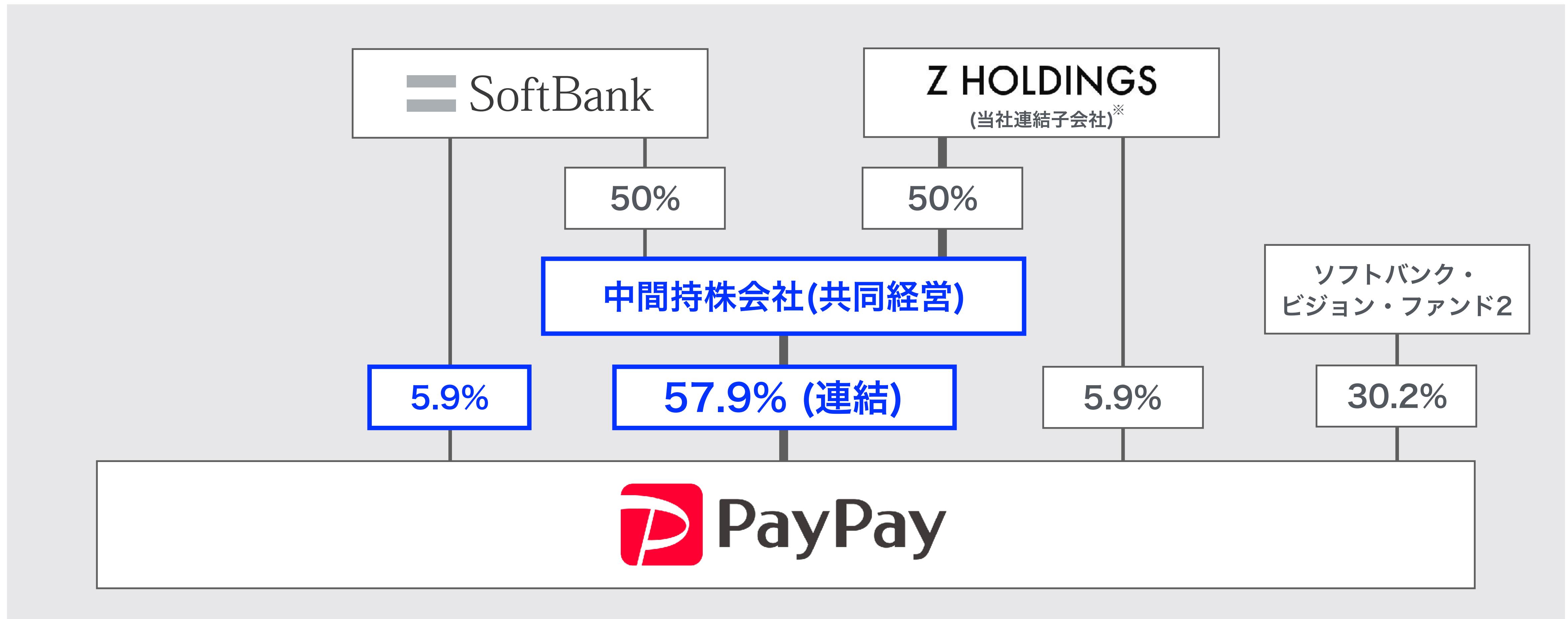
# 本格的なマネタイズ期に向けて

## 両社の顧客基盤やサービスとより深く連携へ



# PayPay(株) 連結子会社化 (2022年10月1日予定)

共同でPayPayの企業価値を最大化へ



# 「PayPay」再測定益の計上



 PayPay

2022年10月1日

連結子会社化

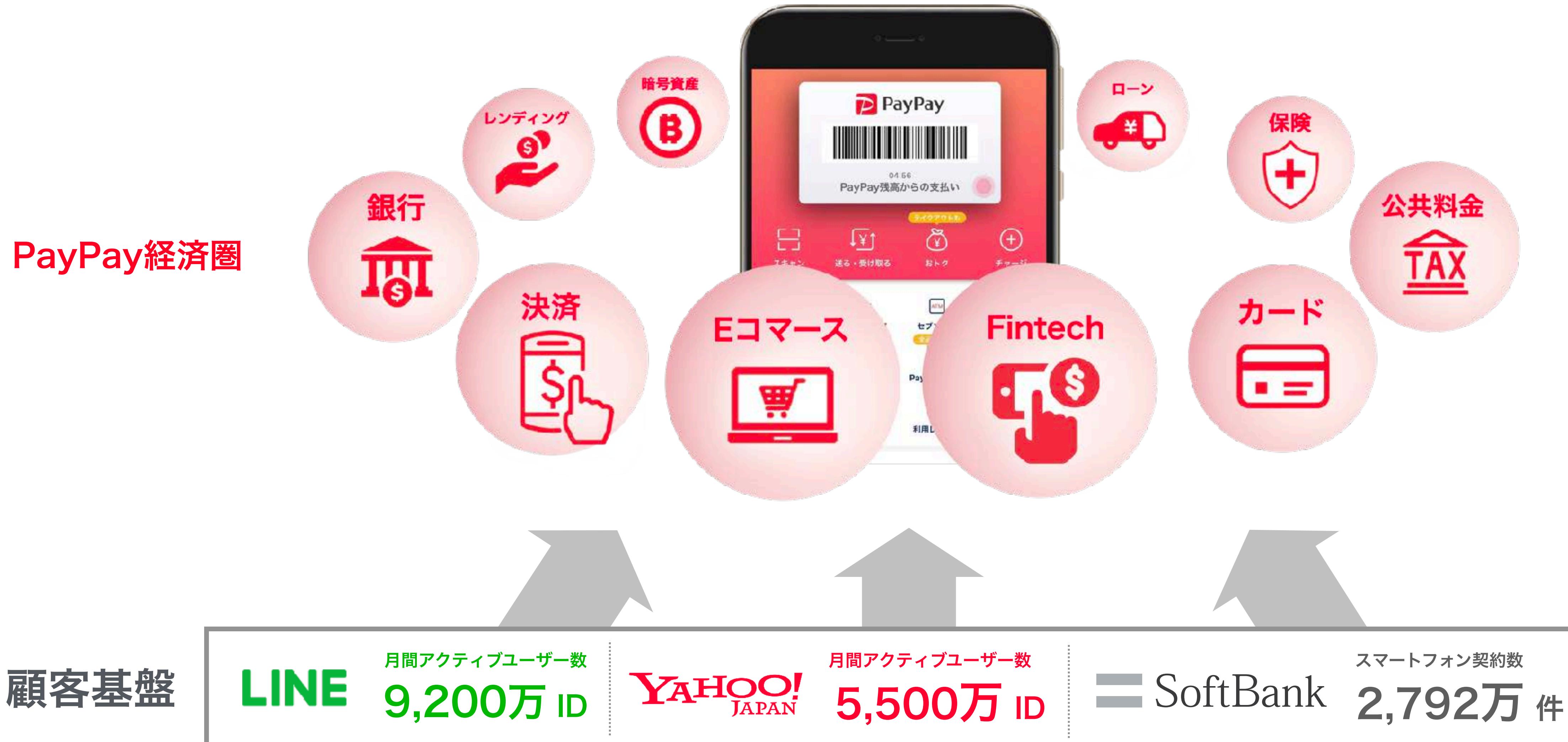


2022年度Q3

再測定益計上へ

(金額は確定次第、速やかに開示予定)

# 両社の顧客基盤を連携し経済圏を拡大

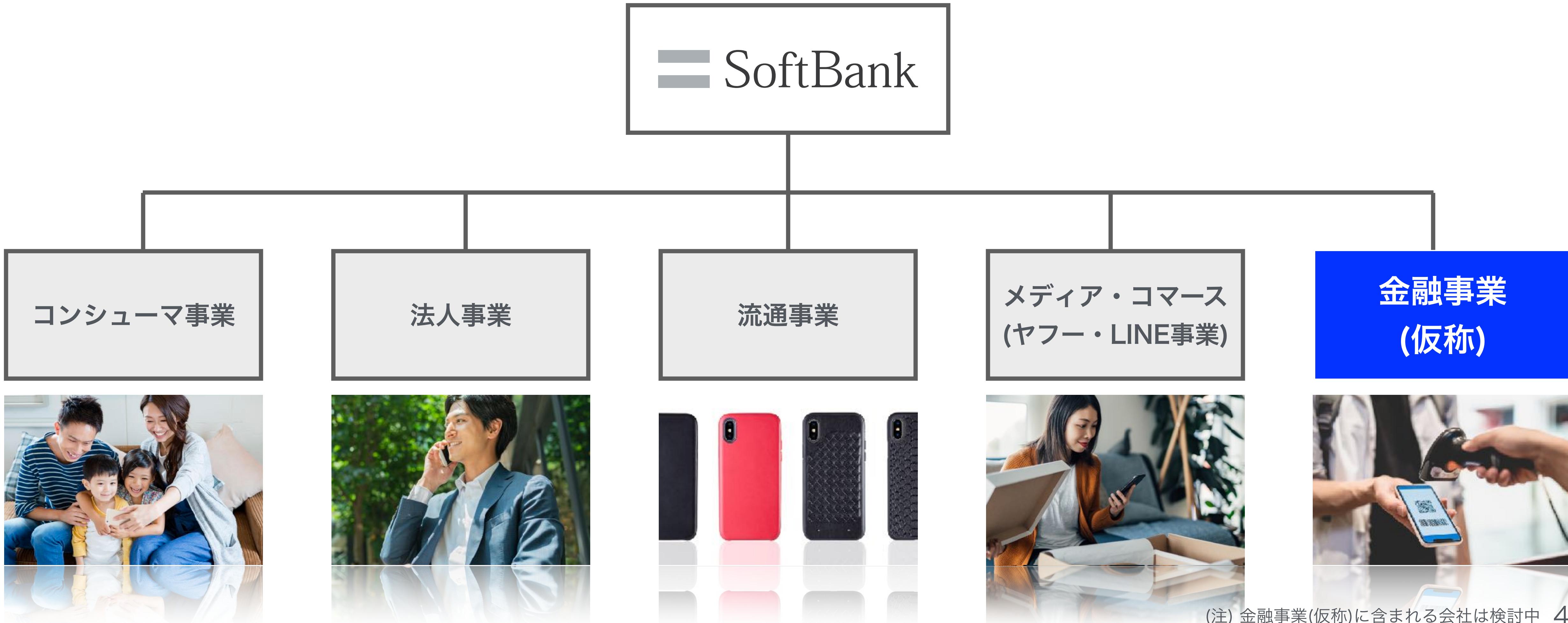


# 経済圏の拡大を各事業の成長につなげる



# PayPay連結後のセグメント

## 金融事業(仮称)を新設予定



# 当社の事業ポートフォリオ

決済・金融を本業に加え「Beyond Carrier」をさらに加速

～2018年度



2019年～2021年度



2022年度～



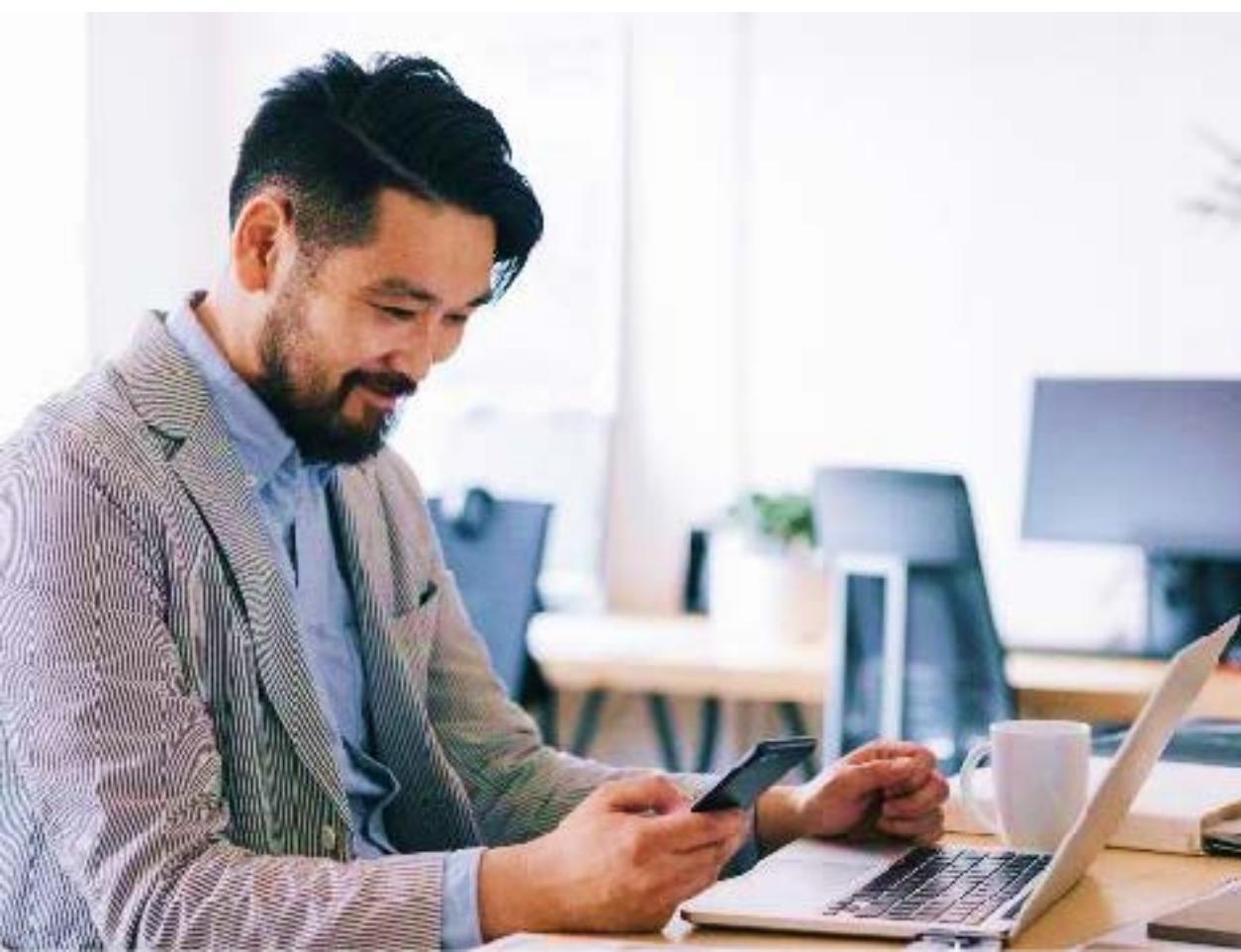
# 本日のまとめ

- 1 増収減益も計画通り順調に進捗
- 2 モバイル純増が好調に推移
- 3 当社/ZHD共同でPayPayの企業価値 最大化へ
- 4 金融事業を新設し「Beyond Carrier」を加速



# 情報革命で人々を幸せに

---





SoftBank